

おうちで楽習保育®をやってみよう

おうちの中に映えスポットを作ろう！

環境編

春は、お子さまの成長を感じることができる嬉しい季節ですね。

ついこの間まで赤ちゃんだと思っていたのに、どんどん行動範囲が広がって嬉しい反面、危なっかしい場面も多くなったり、自己主張が強くなり戸惑っている保護者の方も多いのではないのでしょうか。子どもたちは自分を取り巻く様々な環境の中でたくさんの刺激を受けて心身ともに大きく成長していきます。

今回の「環境編」では、保護者の皆さまからのご質問やお困りごとにお答えしながら、ご家庭で楽しくできる取り組みをご紹介します。

環境まるごと

Q&A

保育施設に通う保護者様から



よくある質問に専門家が答えます!!

Q

子どもはもうすぐ3歳になりますが、次々におもちゃなどを出して遊び、片付けません。私も忙しくて手が回らず、家の中がごちゃごちゃの状態です。どうしたらいいのでしょうか？

A

部屋が片付かないとイライラしがちですが、この年齢ではごく当たり前の行動です。

目についたものに次々と興味に移り、集中する時間も短いものです。今、その瞬間を楽しんでいるので前に出した玩具のことなどは忘れてしまい、片付けまで気が回りません。

好奇心を大事に意欲の芽を摘まないよう、**親も心の鍛錬と**

思っている程度許容する心構えがあるといいですね。

自分の行動が許容されていると感じると安心し、自分のタイミングで活動に区切りをつけるようになります。

「片付けないと次に遊ぶ時に困るな」とか「片づけると気持ちがいいな」などの経験を積むことで、だんだんと片付ける習慣がついていきます。

Q

子どもに多くの経験をさせるために、たくさんお出かけした方がいいですか？

A

イベント的なお出かけも楽しいものですが、子どもの経験とは日常生活や普段のあそびの中にこそたくさんあります。

自分で着る服や履く靴を選ぶ。一緒に料理をする。近隣を散歩し季節の変化を感じる。生き物を飼ってみる。積み木やブロックで遊ぶ。雨の音に耳を澄ます。などなど…

大切なのは子どもが「**やりたい!**」「**なんだろう?**」と思うきっかけを用意すること。子どもが主体となる経験がいいですね。

「〇〇ちゃんはどれにする?」「あれなんだろうね?」こんな声掛けも有効です。

また、**子どもが何かを知りたい、やってみたいと思ったとき**

になるべくそれを実現できるようヘルプしてあげましょう。

図鑑を用意する、制作に必要な材料を豊富に用意するなど、保護者の皆さまもここからどんな風にするのかなとわくわくした気持ちで見守っていきましょう。

お家でできる

環境

の取り組みをご紹介します

そうは言ってもきれいにしたい…

片づけ大作戦!

1 大人と一緒にやる!

一緒にすることで片付けの仕方を見て学びます。

2 玩具の数を絞る!

★今ブームの玩具を中心に数を絞って他の玩具は一旦隠す。

ブームが去ったら別の玩具にチェンジ。子どもも新鮮な気持ちで遊びます。

3 片付けをゲームにしよう!

★時計の長い針が6のところにまで片付けようなどルールを設けてチャレンジ。

★どこに玩具を戻すのか所定の位置を決めておく。

忙しい時は一旦入れておく大き目の箱を用意しておくのもよいですね。

4 片づけたくない気持ちを聞いてみる!

もしかしたら作ったものなど飾っておきたいのかもしれない。その時は一時保管場所を設ける。

またはラグなどを敷いて**好きにしているエリア**を作る。

- お子さんの特性に応じ手を変え品を変え挑戦してみてください!
- 危険なもの(刃物、たばこ、薬など)の保管は大人の責任でしっかりと!子どもが取り出せない場所に保管しましょう。
- 大人も「手を抜くところ」と「しっかり行うところ」のメリハリをつけましょう。

おうちの中に、

“映えスポット”をつくらう

玄関やリビングの一角などちょっとしたスペースに季節や年中行事を感じられるタペストリーや小物を貼ったり、置いたりして“映えスポット”を作ります。

子どもの作品などでもOK。バルーンやキラキラモールで飾るのもよし、自分の推しを入れてもよし。**ウキウキ**するものにしましょう。他が多少散らかっていても目をつぶりましょう。

子どもと一緒に写真撮影!

季節ごとや月ごと、行事ごとなどで装飾を入れ替え、写真撮影をしましょう。

すると… あら不思議!こんな効果が!!

- 子どもの成長記録になります。
- 子どもが季節や行事に興味を示すようになります。
- 装飾することにも興味を示し、自分でやってみようとしています。

●これが主体的に環境を整えることになっていきます。親子で同じスペースを飾るのもよし。子ども専用のスペースを用意するものよし。ぜひ、楽しんでみてください。

「楽習保育®チャンネル」で検索!

●おもちゃ棚のレイアウトはどうしてる? 見せる収納術ポイント4選

●飾れるねんどアート



<https://www.youtube.com/watch?v=AdEa7eUdMYo>

<https://www.youtube.com/watch?v=U35J-ePuDuo&t=19s>

専門家の声 VOICE



片づける・整える・彩る／ともに育む親子の暮らし

あまの たまじ 天野 珠路先生

楽習保育®教育アドバイザー／鶴見大学短期大学部教授

よそのお宅にお邪魔すると、そのおうちの雰囲気や大事にしていることなどがそこはかとなく伝わってきます。お子さんのいる家庭では写真やお子さんの作ったものが飾られ、玩具や絵本などがあると温かな感じを受けます。お子さんが遊ぶスペースがラグなどでわかれて、玩具が分類されてそれぞれの箱やケースにしまわれているのを見ると感心します。お子さんが描いた絵が手作りの額縁に飾られていると嬉しい気持ちになります。

きれいに片づける、使いやすいように整える…それらはお子さんが小さい時だけでなく、人が生きていく上でずっと必要なことではないのでしょうか。雑誌や情報番組でも「収納」や「整理術」はよく特集されますね。大人が生活の場を整え、心地よく暮らすために環境を整えていく、その姿勢やささやかな工夫が子どもたちにとってもよい影響を与えます。

子どもは大人が言うことより行うことをよく見て真似するものです。「片付けなさい!」と声を荒げることなく、「私はここ、あなたはここをきれいにしたら気持ちいいね」と穏やかに話し、大人も子どもも物や玩具を元のところに戻すことが当たり前になるよう小さな積み重ねを大事にしていきたいものです。また、**子どもが自分でしようとする姿を認め、十分に褒めることも大切**です。

それぞれの家庭の雰囲気や味わいを創り出すのは大人だけではありません。子どもと共に創意工夫して楽しく快適な暮らしを育てていきましょう。